

あした彩の活動報告

■ノートルダム清心女子大学

〇8月21日（金）西大寺公民館での講演会の記事（FaceBookより転載）

8/21（金）に、西大寺公民館が主催する「シニア大学」という高齢者向け講座に、中学生だった娘さんを交通事故で亡くされた秋田明美さんをお招きして、「命と喜び」と題してご講演をいただくとともに、「あした彩」の活動内容の紹介をさせていただきました。

前半の秋田さんのご講演では、娘さんが自転車で塾からの帰宅途中で事故に遭われたことや、娘さんの看病にあたられた際の心境等をお聞きしました。

その中で、強く印象に残ったのは、秋田さんが日頃から娘さん達に「あなた達は私の宝物よ」と伝えていたこと、意識不明の娘さんと「心の中で会話をした」というお話、そして、娘さんを看病する中で「娘がして欲しいことが分からなかった」と、その悔しさを語られたことでした。

こうしたお話を聞き、自分の今までの行動を振り返ってみました。周りが自分にもたらす行為を当たり前の行為だと受け止めているのではないかと、普段から娘さんたちに宝物だと伝えている秋田さんでも悔しい思いをしている、もし今の私から大切なものが失われたら、きっと後悔が残ると思います。失ってからでは遅い、日頃から周りに感謝の気持ちを伝えなければいけないと感じました。

また、後半はノートルダム清心女子大学の土井原と山本により、あした彩の活動を紹介したり、実際にあった交通事故を基に制作した「まおちゃんの新しい靴」の紙芝居動画を見ていただきました。

私たちにとって、公民館で講座を企画させていただくことも、「あした彩」の活動を紹介することも初めての試みだったので、大変責任を感じる時間となりました。

しかし、聴講者の方から、「ありがとう、元気が出たわ」「私も20年前に子どもを事故で亡くしたの。これからも頑張ってください」などと声をかけていただき、私たちの発信が世代を超えて届いた喜びで胸がいっぱいになりました。

また、講座終了後に行なった秋田さんとの交流会では、秋田さんの持ち前の明るさのおかげで、私たちが逆に元気をもらいました。

今回の秋田さんによるご講演や、「あした彩」の活動の紹介により、犯罪被害者支援の輪が広がったことを実感しています。

これからも、感謝の気持ちを忘れず、被害に遭われた方々の心に寄り添った支援ができるよう、あした彩の活動を続けていきたいと思えます。



秋田さんの講演「命と喜び」



あした彩の活動紹介（土井原&山本）



秋田さんとの交流会（講座終了後）

犯罪被害者支援の意義を理解するには、直接犯罪被害に遭われた方々の生の声を聴くことが早道かと思えます。これからもあした彩の活動を通じて、こういった講演会やオンラインセミナーなどの情報もお知らせしていきますので、機会を見てご参加をいただき創立30周年記念事業として取り組んでいく「あした彩」への支援活動にご理解をいただければと思います。